

『天職で起業する』 出版企画書

章立て

序章 あなたはなぜ「天職」を求めるのか？

1. 「天職」というコトバの魅力
2. 「天職」に関する期待と誤解

第1章 あなたはなぜ「起業したい」のか？

1. 起業の成否は「動機」で決まってしまう
2. 起業は「手段」であって、「目的」ではない
3. 「生活の安定」か？「人生の充実」か？

第2章 「天職」とはどのような仕事なのか？

1. 天職はいつも「自分の足下」にある
2. 天職は「自分の好きなコト」の中にある
3. 天職は「続いているコト」の中にある
4. 天職は「得意なコト」の中にある
5. 天職は「成長しているコト」の中にある

第3章 なぜいまだに「起業できない」のか？

1. 事業の分野を定められない5つの理由
2. 分野を定めても事業プランを描けられない5つの理由
3. 具体的な事業計画書を作成できない5つの理由
4. 事業計画書を作成できても起業できない4つの理由
5. 起業できない人が気づかない「本当の理由」

第4章 なぜ天職を「定められない」のか？

1. 天職という「業界」も「業種」も存在しない
2. 天職は「仕事」という「行動」の中にしか無い
3. 天職は「探す」ものではなく「気づく」もの
4. 天職は「求められるコト」の中にしか無い

第5章 なぜ「起業に失敗する人」が多いのか？

1. 「楽に儲かりそうなビジネス」だけを追い求める
2. 「楽しくない」からすぐ止めてしまう
3. 「人に使われる仕事」は出来るのだが……
4. 「起業家」と「専門家」を混同してしまう

第6章 「天職で起業する」にはどうすればいいのか？

1. 「好きなコト×得意なコト」を天職と定める
2. 「自分を鍛えてくれる職場」で修業する
3. 「自分を求めている人」を顧客と定める
4. 「顧客」の求めるに答えるコトを仕事にする
5. 起業に不可欠なのは「勇気」であって資金ではない

第7章 なぜ「天職で起業する」と成功するのか？

1. 「精神的には疲れない」から「続けられる」
2. 「手応え」が有るから「成功する」まで「続けられる」
3. 「求められている」以上のレベルで応えていくから
4. 自分の成功を自分自身で確信できるから

第8章 「起業」は手段、目的は「人生の充実」

1. 最終的な目的は「金儲け」か？「人生の充実」か？
2. 「起業」を目的にしてしまうから「道を誤る」
3. 天職とは「家業」や「事業」ではなく「生業」の中に有る
4. 自分の人生を充実させる「仕事」が「本当の天職」だ！

終章 天職と「人生経営」

1. 「生活は豊か」だか「人生は貧しい」という社会
2. いまの「仕事観」「職業観」「人生観」への疑問
3. 「人生経営」という視点・「事業経営」という視点

付録<天職に気づくためのチェックポイント一覧表>

他のタイトル案

『天職』『天職と適職』『天職で起業したい人へ』

企画の主旨

<起業ブーム>と言われて既に久しいが、そのブームに踊らされて、自分にとって最適ではないビジネスで起業して失敗してしまい、悲惨な人生をおくらざるを得なくなる人たちの悲劇を未然に防ぎたい。

対象とする読者

「天職」という単語に惹かれる人たち。
「自分には自分に相応しい天職があるはずだ！」
と思っている人たち。
「自分も天職で起業したい！」と願っている人。

キャッチコピー

「起業」も「金儲け」も単なる手段、
本当の目的は「人生の充実」

本書のスタイル

新書版 縦書き（一部横組み）
210頁～230頁 25字×25行

本書に続く出版企画

『起業は人生経営から』
『あなたはなぜいまだに起業できないのか？』
『儲かるビジネスに飛び付く人が必ず失敗する理由』

著者プロフィール

小久保 達（こくぼ さとし）
1949年4月24日東京・板橋区生まれ。
区立板橋第二小、区立板橋第一中学校を経て1968年都立北園
高校卒業、1浪後、明治大学文学部入学。2年中退。
建材調査会社を経て25才で脱サラしたが1年も続かず挫折。
親の財産まで喰い潰した自分の愚かさに絶望して自殺を試みる
も死にきれず。「喰うために」ヤケツパチで就職した会社が真面
目な社員研修会社だったのが幸運！そこで<起業の本当の成功
要因と失敗要因>に気づき、1985年（35才）再び脱サラして
創業開発研究所を開設、現在に至る。
起業関連の著書は9冊。
2001年4月から岐阜大学産官学融合本部客員教授。
27年間で2000人を越える起業希望者への個人指導を積み重ね
てきた実績と経験から生み出された言葉には説得力が有る。

現住所・埼玉県飯能市久下457-8-902
TEL/FAX 0429-74-8417 創業開発研究所